

のアルバム

祝！野州市から世界の舞台へ！！

東京 2020 パラリンピック水泳競技の日本代表選手（混合 4 × 100 m フリーリレー）に内定した滋賀友泳会所属の福井香澄さん（小篠原）が市役所を訪れました。

福井さんは、昨秋の大会記録により女子 100 m 背泳ぎで世界ランキング 4 位に昇格。その後も、コーチと誓った「東京パラリンピックに日本代表として出場する」という目標に向け練習を重ね、5月の大会記録により内定となりました。

内定の喜びとともに「精一杯頑張ります。」と力強い決意を語ってくれました。



▲6月22日 福井さん（中央） 青谷コーチ（左）



▲6月29日
壯太さん（左から3番目）とご家族



9月にチェコ共和国で開催されるカヌー世界大会に日本代表選手として出場される岩井壯太さん（五之里）が市役所を訪れました。

岩井さんは、県立八幡商業高等学校カヌー部に所属し、日々、厳しいトレーニングに取り組み、6月の近畿高等学校カヌー選手権大会においても優勝され、今後の活躍が注目されている選手です。

世界大会出場にあたり、出場選手たちの高度なレベルを肌で感じられる喜びと意気込みを語ってくれました。

ささのは さらさら♪

あやめ子育て支援センターで「七夕の集い」を開催し、幼児 17 人とその保護者が参加されました。

たくさんのお話がある室内で、七夕のお話を聞いたり、歌を歌ったりと楽しんだ幼児たち。最後に、飾りつけられたお星さまを探し集め、短冊を吊るした天の川に飾りつけました。

皆さんのお願いごとが叶いますように。



▼7月7日 あやめ子育て支援センター



《お詫びと訂正》

7月号の「故きを温ねて新しきを知る」記事で、氏名に誤りがありましたのでお詫びし訂正します。

（正）・・・と話す会長の川尻順治さん。 （誤）・・・と話す会長の川尻順二さん。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

203

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

消えた義王隧道と朝鮮人街道

滋賀県希望が丘文化公園の丘陵地を水源とする家棟川は、何度も氾濫を起こした天井川で知られます。天井川は、主に上流から運ばれてきた花崗岩の土砂の堆積によって川底が上昇し、堤防の積み重ねを繰り返すことで、川底が周辺の地より高くなった川のことです。家棟川はその名のとおり、家の棟よりも高い天井川で、ひとたび堤が切れると、家屋や田地に甚大な被害を及ぼしました。そこで、昭和17(1942)年から5年に及ぶ付け替え工事によって家棟川は現在の流路となりましたが、それ以前は篠原神社(上屋)の北側から北西に向かって流れ、童子川に合流していました。

さて、古くから往来が盛んであった朝鮮人街道ですが、平らで歩きやすい道ばかりではありません。富波新町村(富波甲)と永原村(永原)の境界に沿って流れる旧家棟川は、街道と十字に交わりました。これは、今の祇王駐在所(永原)前の交差点付近にあたります。かつて、街道の通行人はこの地点で天井川特有の高く築かれた堤を越えて川を渡る必要がありました。そこで明治26(1893)年には「義王隧道」(写真下)というトンネルが築かれ、以前より容易に通行ができるようになりました。アーチの上部中央には銘板が掲げられ、「義王のマンポ」とも呼ばれました。

ところが、先の河道の付け替え工事により、旧流路は平地に造成され、昭和22年には隧道も撤廃されます。一帯は大きく変貌し、街道を歩いても旧家棟川や堤の面影は残っていません。「義王隧道」の姿を語る人も少なくなりつつありますが、銘板は郷土の歴史を後世に伝えるものとして、コミュニティセンターぎおうで大切に保存されています。(市史専門調査員 江藤 弥生)



(上)「義王隧道」の銘板

(下)「義王隧道」昭和22年ごろ 藤村和夫氏撮影

■郷土史展「朝鮮人街道をたどる—絵図からみた街並みの変貌—」
開催中～10月3日(日)まで

※8月の休館日:月曜日(9日は除く)、10日(火)

※市民は入館無料(運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。)

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。



みんなでタケノコ採り体験

環境基本計画推進会議(えこっち・やす)緑の推進委員会主催のタケノコ採りが開催され、子どもとその保護者約50人が参加されました。

スタッフの皆さんに採り方を教わりながら、ときには自分の背丈ほどあるタケノコを収穫し、誇らしげな表情の子どもたち。袋いっぱいタケノコを手に「どんなタケノコ料理にしよう?」と食卓を思い浮かべる親子の会話が聞こえてきました。

収穫後はネイチャーゲームをしたり、焼いたタケノコを食べたりと、自然を味わう一日となりました。

▼6月12日 野洲川北流跡自然の森



今年も咲きました

弥生の森歴史公園にて、昭和63(1988)年の開園時から育てている「大賀ハス」が6月20日に開花しました。

大きな葉に囲まれて咲くピンク色のハスの花がとても綺麗です。

見頃は6月下旬～7月中旬で、午後には花が閉じるため、朝からカメラのシャッターボタンを押す姿が見受けられました。

▼6月下旬 弥生の森歴史公園

